

福居



福井商工会議所青年部会報

卒業、おめでとうございます

「第20回 市民の広場」開催

「会員企業訪問」

奥さま訪問

海外研修報告

Vol.82・83
合併号

発行日/平成9年3月25日発行

発行所/福井商工会議所青年部

福井市西木田2-8-1

TEL:0776-36-8111

FAX:0776-36-8588

発行者/野阪 泰樹

編集者/柴田 治是



三国海岸での重油除去ボランティアに参加した有志

お世話になりました
これからもよろしく...



荻安浩道さん

私が入会したのは、約十年前の九月頃、古川氏（元全国商青連会長）の推薦により、JCより活動は少なく、楽だとのことで入りました。
時の事務局は、平成八年十一月までの坂下氏だった。
入会直後の例会にて、いきなり挨拶とのことで前に立ったが、約三十名くらいの出席者は皆スーツ姿で、大人っぽく感じ、格式のある会に見えた。
また、例会後の二次会にて、大須賀氏より、次年度市民の広場委員会、第一回ハートランドをするので、委員会に入ってほしいと誘われる。四月より、中央公園の芝生広場でちびっ子広場のチーフをしてほしいとのこと。なかか何だかわからないから、自分の好きなことをして、人をたくさん集めてほしい。ただし、予算はゼロだからお金と出演者は自分で都合をつけてするように。ほんまかいなと思いつつも、さくらで二十人ほど集め、子供を含めると二百五十人くらい集めることができた。
山口の全国大会で、所属委員会を聞かれ皆の前でちびっ子の荻安ですと言った。それ以来、ちびっ子の荻安で通っている。大事件であった。
終了後、小川氏（直前会長）より福井市政百周年事業に青年部も協力することになり、足羽三山に桜の若木を三千本植樹するという委員会の副委員長をやってほしいと頼まれる。しかし、どうやるかでもめにもめたことが思い出される。週に二、三回ほど委員会、また、外部団体また、市役所との打ち合わせに追われた。土曜日曜には、だるまや西武前、福井フェニックスプラザ前、足羽山山頂等で募金活動をした。自然体系の問題等している人々の話を聞き、勉強になった。桜委員会の委員長の時、モニュメントを設置した。動物園では、式典とミニコンサートを行った。モニュメントの短歌の作者、俵万智さんを福井駅に迎え、足羽山を散策し食事を楽しんだ。
会員委員会では、初めてのキャンプを石川県民の森で行った。また初めての家族クリスマスパーティーを手作りで行った。
青年部においては、初めてのものを提案、計画、実行してきた。また、会長、副会長という名前をいただいたが、委員会においていろいろな人たちに会えて、議論をし、教えられ、自分の青春として大変いい会に入り活動できたことを感謝します。

送る言葉

永井弘明

荻安さんへ卒業おめでとうございます。
思い返しますと第一回のハートランドで子供対象のゲームを担当され、全国大会で長門の青年部と交流した際の自己紹介で「ちびっ子の荻安です」と言われた話はあまりに有名です。功績と言えませんが、二十周年記念事業の成功に思い入ります。形式にこだわること無く今後繋がる年にならうと荻安会長の方針が貫かれた一年であったように思いました。今後も荻安さんのスキミングを大切にす精神（女性に対してだけでなく）をYEGに根付かせていきたいと思えます。

祝 卒業

おめでとうございませう

楽しい思い出さありがあう
ありがとうさうさありました
これからもお願ひしませう
私にゆめを贈りて下さることに感謝さう
お別れさうさありました
お別れさうさありました
お別れさうさありました



坪田輝幸さん

同級生（商工会議所の）橋本浩君の紹介で、入会して以来、あつという間の卒業という感じが実感です。余り、正式活動には参加出来ませんでしたがいづろいな思い出が浮かびます。
初会合に導いてくれた加藤さん、スキーに連れて志賀に行った荻安君、翔生ゴルフ会の前田さん、門嶋先輩、家族連れのクリスマスパーティー等々、むしろ、本活動の中でも、懇親の場における人間性の発見勉強会の六年間であったと思えます。
色々と楽しい思い出がさうさありました。
後輩の皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

送る言葉

前田裕之

坪田さんは、青年部のゴルフ同好会である翔生ゴルフクラブのメンバーでもあり、そこでの交流が印象に残っております。また私が同会の代表幹事をしていた事もあり、私はじめ幹事に対しては「ご苦労さまですい」と常に声をかけていただきました。
坪田さんのゴルフの腕前はシングル級のすばらしいものです。プレイ中は他のメンバーに対して細やかに気を使っていた事、よく覚えております。
卒業後もぜひ、青年部の後輩をご指導いただきたく思います。

お世話になりました
これからもよろしく…



清水清一さん

会社経営に携わって、何を学ぶかを考え、先輩の導きもあり青年部に入らせていただきました。前の商工会館の一室で、緊張しながら自己紹介をしたことが懐かしく思い出されます。活動といえば熱心な会員ではなかったけれど、駅でのピラ配り、足羽山の清掃、中国研修、フォーラムの進行等楽しくやらせていただきました。青年部は自分の目的を明確にして活動し、その中からいろんなことを学べる場所であり、会社の経営に参考になるところであります。ただ自分は正直のところ、青年部活動で目的を明確にできずいささか消化不良であります。胃腸薬を飲み今後の活動に新たに挑戦します。皆さんありがとうございました。

送る言葉

竹内幹男

清水さんとは例会関係の委員会で二度程一緒に活動させていただきました。会員手帳にもあるようにいつも「行動こそ真実」をモットーにされているだけあって、普段あまり口数の多い方ではありませんが、委員会等で何かを議論し決めていく場合に終わりの方で存在感を感じるというか頼りになる人でした。企画としては能登と金沢へ行った視察ツアーなどが思い出されます。また青年部活動だけでなく翔生ゴルフでもいろいろとお世話になりました。腕前の方はクラブ一のハンデをお持ちで、私にとっては雲の上のレベルですので野暮なコメントは差し控えますが、ご卒業後も宜しく願います。長い間本当にご苦勞様でした。

お世話になりました
これからもよろしく…



前田公孝さん

私が広報委員長だったときのことです。「明日までに原稿を書いてくれ。」といった無理な注文を会員の皆様に出してばかりでしたが、皆さん快く原稿を締切りまでに書いてくれました。この素早い行動に感謝感謝であります。

私の最後の青年部活動となったバンコクへの海外研修旅行においても朝はジョギング・昼は企業訪問・夜は日泰友好にと大いに活躍した会員の行動力にも感心させられました。これからこの行動力によって益々青年部活動が盛り上がるよう期待しています。

送る言葉

江守康利

前田公孝さんご卒業おめでとうございます。八十九年に入会されたとき、例会後のあわただしい中、顔写真を撮ったのは私でした。それ以来、いろいろな委員会・行事の中で、前田さんと一緒に行動することがありましたが、前田さんは、名前の通り、いつも前向きに懸案に向かわれ、軽いジョークを飛ばしながらも、司法書士という職業柄が堅実な選択をされていきました。仕事の担当割では、難しそうな役目も進んで引き受けられ、無事こなしていく姿は頼もしい限りでした。今後も、あじさい会会員として、ときには厳しいご意見もいただきながら青年部活動を暖かく見守っててください。よろしく願います。

青年部に入会して
1、街づくりに対する関心
「市民の広場」の活動を通じ、街づくりは行政や一部の人間にまかせるべきでない。市民の声を反映した、市民が真に欲する、市民の為の施設は愛着を感じる住み良い街づくりの第一歩となる。機会を活かし今後も考えて行きたい。
2、郷土福井を誇りに思う
左内、公正など郷土の偉人の足跡をたどるイベントを通じ、改めて先達の偉大さとバイタリティーをより身近に感じ、心から福井を自慢出来る。
3、異業種交流
全国大会、近プロでは全国のYEGの熱きパワーを肌で感じ、自身自身の活性化が図れた。
4、各種イベント
クリスマスパーティー、キャンプなどに家族で参加し、とても楽しい一時を持って、今でも貴重な良き思い出となっています。



橋詰善光さん

青年部が今後益々活躍されることを期待します。

送る言葉

佐々木清史

橋詰善光さん、ご卒業おめでとうございます。思い出を振り返ってみますと、確か平成三年入会で、当時我々は会員増強で、親会会員企業からYEGへの会員入会者を訪問し案内していたと思います。そこで三谷セキサン様から入会された記憶にあります。私が一番お世話になったのは平成六年、市民の広場委員長をしていた時副委員長を務めていただき、フォーラムの準備又本フォーラムの日「駅周辺に関するアンケート」をまとめてもらい結果発表を見事にいただいた事、本当にありがとうございました。本当に心づくよく思っております。又キャンプ、クリスマス大会等で活動され、YEGに対する情熱の深さが強く感じられます。今後のますますの御活躍をお祈りいたします。



園井康夫さん

商工会議所青年部に友人の紹介で入会し、卒業まで五年間の短い間でありましたが委員会活動・例会などに参加させていただき、皆さんと多少なりともお付き合いが出来楽しく過ごさせていただきました。感謝いたします。またお会いすることがあるとありますがその時はよろしく願っています。

送る言葉

竹下英二郎

本当に、卒業しちゃうんですか？入会して、そう何年も立っていないと思うのですが。〇〇さんみたいに、自主留年して私たちと一緒にまだまだ汗をかいて欲しかったです。園井さんとは、他の会でも親しくさせてもらっており、要職につかれ、リーダーシップをいかんなく発揮されておられます。荻安さんとは、高校の同級生だそうで、荻安さんが「動」とすれば園井さんは「静」、お二人が一緒にいなくなってしまうのは、淋しい限りです。物静かな園井さんですが、芯がしっかりしており、博識でいらっしゃるのです。今後もますます活躍されることと思います。本当に、卒業おめでとうございます。最後に青年部のレベルアップの為、ゴルフのご指南もよろしく願います。

※走坂義和さんもご卒業されます。おめでとーいねーます。

会員企業訪問 vol.4

宇佐美材木・宇佐美住設建材

清川：今回は、総務委員会で活躍されています、宇佐美さんの会社を訪問させていただきました。まず、印象的なのは、会社の近くにある宇佐美さんのお宅。シックで落ちついた外観、玄関の戸を開け、中に一歩足を踏み入れると、洗練された日本建築の明るい雰囲気が目につきます。木肌の持つ柔らかな色調と風合いが玄関フロアにあふれて、質感の高さを感じさせます。

宇佐美：当社は、木材、建材の製造・仕入れから建築設計・施工における全てを一環してプランニングできるため、品質、コスト、納期に於いても充分、お客様に満足していただける体制をとっています。私の家も当社で設計しモデルルームとして活用しています。当社の特徴は、木と人を愛する職人集団であり、いい材料（木）と人情に出会った時、仕事が趣味になり、趣味が仕事になる人達です。このような雰囲気の中で自然と生まれてきた社風が、「利より人を大切に」、「家造りは子育て」です。みなさん一度当社へお越しください。木の温もりとおいしいお酒そして豊かな自然で歓迎いたします。

清川：本日は、お忙しい中、ありがとうございました。

広報副委員長 清川 卓二



会員企業訪問 vol.5

エフオーシステム

Perfect TV!

清川：5回目を迎えた青年部会員企業訪問は、監事として活躍されている佐々木清史さんの会社を訪問させていただきました。

まず、店内には、コピー、パソコンから携帯電話、電化製品と非常に幅広いパンフレット及び商品が並んでいますが、これらの商品のつながりと業務内容を教えてください。

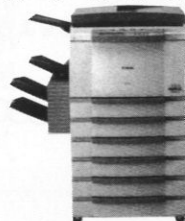
佐々木：(有)エフオーシステムの得意とする業務は、デジタル商品です。近年の情報化社会に於いて欠かす事の出来ない技術「デジタル」、当社は、オフィスプランニングに高効率、低コスト、省資源をデジタルで実現しています。特に、情報化社会での中心は、パソコン、コピー、FAXです。これまで、パソコンで作成した文書をプリンターで出し、FAXをするといった、効率が悪い仕事が多くありました。しかし、当社でお勧めしている、Canonコピーは、コピー/プリンター/FAXを一体とし地球とオフィスのための省エネ、省スペースを実現しています。

また、情報化時代のもう一つのキーポイントは、デジタル放送（CS）です。昨年11月近畿東海地区の青年部メンバー11人で(株)ディナック近畿東海（会長 三重 辻氏、社長 奈良 本出氏）が設立されました。(株)ディナック設立の目的は、地域の青年経済人のネットワークとして情報の発信源（放送局の設立、番組制作）となります。デジタル放送（パーフェクトTV、JスカイB）は400チャンネルを越える多チャンネル時代に突入り、デジタルにより我々が主役になる時代がやってきました。世はまさにデジタル……。

アナログを御使用の方、一度当店にお立ち寄りください。デジタルでオフィスをそして生活を変える事ができます。TELお待ちしております。

今回は、(有)エフオーシステム代表取締役、並びに(株)ディナック取締役 佐々木清史さんにお話を聞かせて頂きました。お忙しい中ありがとうございました。

広報副委員長 清川 卓二



「市民の広場」 20周年を迎えて vol.4

市民の広場委員長 前田 裕之

第20回 市民の広場フォーラムを終えて

去る11月9日(土)、安田生命ビル（大ホール）にて、第20回市民の広場フォーラムが開催されました。

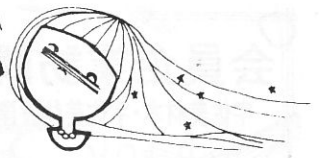
今回は、『みんなでつくろさ、福井の顔』をテーマとし、昨年・一昨年に引き続き、福井駅周辺のまちづくりについてフォーラムを行いました。特に今回は新しい試みとして、議論（ことばによる話し合い）だけでなく、参加者に実際に手を動かしてもらい、テーブル毎に『まちづくり案』を作製してもらいました。これは「あなたがまちづくりの主役です!!」という、コンセプトを文字通り実施したわけですが、おおむね好評であったようです。



さて、このフォーラムの成果を実りあるものとするために、報告書の作成をはじめ、今後も活動を続けていかねばなりません。引き続き会員の皆様の御協力をお願いします。



フォーラムの後、何人もの一般の方から、新聞報道、あるいはFCTVの報道を見た、との話を聞きました。少しずつではありますが、「まちづくり」に対する関心も高まってきているのではないのでしょうか。本町明里橋線地下駐車場もオープンし、駅周辺区画整理事業もすすんでいます。まさに今、大きく変わろうとしている中に、私たちはいるのではないかと思います。



奥さま訪問 その3 山岸知子さん

会員の奥さまを訪問する企画も今回が3回目になります。
今回の「奥さま訪問」は、趣向を変えて青年部クリスマスパーティに参加された奥さまを訪問、会員の中でもチャームな奥さまとうわさの高い山岸寛土さんの奥さま知子さんをお尋ねしました。
では、早速、

Q : 御主人はうちの若く見えるって言っていましたがお年を聞いてもいいですか？

知子さん : 36なんです。結婚はS59年だったかな

Q : そうですか。私はS58 (関係ないですね)、お子さんは1人ですか？

知子さん : 男の子1人です。

(お父さんそっくりですね)

Q : ご主人との知り合ったきっかけは？

知子さん : 英会話の学校で一緒だったんです。私は英語は話せませんが、

Q : へえ～。山岸さんって英語を勉強していたんですか？ところで、ご主人の商工会議所青年部での委員会とか会報誌とかご存じですか？

知子さん : あまり知りません (笑)。来年は何か委員長になるって聞きましたけど…
(うちの奥さんも私が何の委員かは知らないでしょう…)

Q : 会議所のイベントなどで印象に残るものはありますか？

知子さん : クリスマスパーティとかキャンプは毎回参加させて頂いていますが、キャンプはいいですね。毎年、楽しみにしています。

Q : ご主人は夕食とかは一緒に食べられますか？

知子さん : 土日だけです。平日は一緒に食べる事は全然ないです。外食か弁当か飲みに行っているか…、どちらかですね。

Q : へえ～、なかなか大変ですね。最後にご主人の事を一言で言うとうと？

知子さん : そうですね。「仕事に生きている」って感じですね。

Q : …… (絶句)…、(失礼しました、山岸さん、私は女性が多い職場だから生き甲斐があるのかと想像してしまいました。)

って事で愛妻家って感じの山岸さん…、なるほど、可愛い奥さんで山岸さんの気持ちも分かりますね。

これからも商工会議所青年部をよろしくね！

広報委員会 多田和博



全 国 大 会

さる十一月十五・十六日、青年部全国大会(奈良大会)に参加しました。

主管が自青年部と交流の深い奈良青年部ということもあり、自会参加者がごぞつて、貸切りバスにて一路奈良へ向かいまして。

全国大会初参加である私は、日程も大会内容もわからず、とりあえず、担当委員という事で参加しました。

初日、四つの分科会のうち、I「記念講演(井戸和男氏)」とII「能・狂言講座」の二つに自会参加者がそれぞれ参加。その後、奈良市中央体育館で行われていた『YEGビジネス交流プラザ』や『YEG全国まちおこし物産展』を見学後、大懇親会に参加。終了後大阪にて宿泊。

二日目、再び奈良に向かい、記念式典に出席し日本商工会議所稲葉会頭の講話を聴講。大会終了後先進地・先進企業視察を行い、帰路の途についていたのです。

私にとって今大会の印象は、近年の経



総務副委員長
宇佐美 嘉一

済環境における厳しい状況下では、地域・情報の連携が大切なのだという事でした。

参加者の皆様と楽しい二日間が過ぎ、担当委員としてひと安心しております。皆様の御協力に感謝します。

翔生ゴルフクラブ、 第50回記念コンペ開催される!!

去る11月21日(木)、丹生カントリークラブにおいて、翔生ゴルフクラブの、第50回記念コンペが開催されました。
翔生ゴルフクラブOB、青年部OB、県連の方数名にも参加いただき、総勢30名、8組という、にぎやかなコンペでした。



コンペ終了後、会場を移し、パーティを行いました。その席でOBの方より、翔生ゴルフクラブ創生期の話など、いろいろ会話もはずみ、大変楽しい記念コンペであったと思います。

翔生ゴルフクラブ
代表幹事 前田裕之

先 端 地 企 業 訪 問



今年の先端地企業訪問は、全国大会奈良大会終了後、ダイワハウス研究所を約二十名で参加しました。

大型スクリーンで最近の住宅事情、ダイワハウスのテーマ等について紹介されました。

一番印象深かったことは、世界各地の環境共生住宅の展示でした。約二十棟のミニチュアが私たちを迎えてくれて、感動ものでした。
中国、モンゴル、アメリカ等の長い間かけてつちかわれた生活者重視の考え方、施設にふれて大満足でした。

企画・研修副委員長
山岸 寛 士

僕がいつものそのBARに着いたのは、十二時をとおくに過ぎていた。「オカエリ」とマスターは、口髭を撫でながら言った。

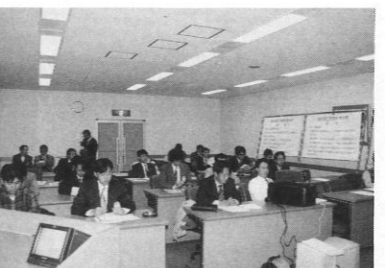
「今夜は、青年部の新入会員オリエンテーションがあったんだ」僕は、マツケンナをハーフロックで飲みながら思い出していた。

「——各会員との集まりの中で刺激を受け、またその交流から人としての幅を広げ……」

「自分の意識を高くもち、自己研鑽に努め……」

「桜ヲ守リタイノ」

「人は死んで名を残すと言いますが、我々青年部会員は何を残しますか？」僕は混濁していく記憶の中で、みんなの顔を思い出していた。



前向きな活動や、考え方をしている人間は、イイ顔をしているものだ。たとえヨッパラって



「まだ来たばかりじゃないか」とマスターは言った。

「しつけの良い子は長居をしないんだよ」と僕は言った。「今度、DES PERADO」を頼むね」

「いつでも弾くさ」

ドアを開け冷たい空気を吸い込んだ。それは混沌とした僕の意識に鋭くささった。歩きながら再びみんなの顔を思い出した。あの連中の中でいったいどんな事ができるか、自分に対する興味と期待を感じていた。

前田 弘

会員委員会

第十三回県連会員大会は、二月一日(日)鯖江サンโดーム福井にて、大会史上最大の登録者数を数え開催されました。

今大会では、「きずき 新たな飛躍」というテーマが掲げられ、数々の趣向を凝らした企画のもと、参加者一人一人がそれぞれに「きずき」良い機会となりました。

記念事業においては、「FBCラ ジオたんたん竹本たまげた鳴尾」でお馴染みの竹本氏による「人の心を動かすスピーチ 吉本流」と題した講演が催されました。

司会を担当した重盛アナとの絶妙な掛け合いの中、終始和やかな進行となりました。



途中、竹本氏の提案で隣席した参加者各7人グループによる3分間自己紹介の時間では、「普段から話

題のネタを用意しておくことが、相手をうまく自分の会話のペースにもっていきけるコツである。」等、色々気付けられること多い講演会となりました。

その後、今回、鯖江商工会議所青年部が最も力を入れたとされる懇親会へと会場を移し、コンパニオンに綺麗どころを取揃え、めくるめくる大の時間となりました。

コンパニオンのお姉さんを前に、会員の普段見せない一面に気付いたり、今まで築いてきたものが崩れ去ったりと、参加者様々「きずき」が見られました。

全員参加の『お・と・な・のチャレンジクイズ』では、ビンゴ、クイズそして野球拳と勝ち抜きが行われ、優勝者が決定する頃には、参加者も打ち解けあい懇親会も最高潮を迎えました。

広報委員会

青垣 幸仁

「海外研修」

「バンコクは暑かった編」

企画・研修委員長 竹内 幹男

先日2年ぶりの海外視察研修が行われ、今回はタイのバンコクへ行ってきました。総勢13名で2/13(木)からの3泊4日を目一杯使った日程でした。

早朝雪の降る福井を出て関西空港から約7時間、バンコクに着いたのは夕方だったのですが、気温は34度もあり大変に暑かったです。乾季ということですが、我々には結構蒸し暑かったですし、全体に埃っぽい感じがしました。

2日目に視察のメインとして、バンコク郊外にある帝人の現地法人工場（染色加工とプリント）を見学しました。工場長さんから直接これまでの経緯と現状の説明をお聞きできただけでなく、夜の懇談会には社長と副社長のお二人にも加わって頂き、様々な観点からのお話を聞くことができました。迎えて頂いた皆さんは福井のことにも詳しい方ばかりで、そういった意味でも実のあるやりとりができたと思います。

工場に関するお話のポイントは

- 最近では帝人グループ全体の戦略の一部を担う位置付けとなり、日本や欧米への輸出に向けて厳しい品質基準で生産している。
 - 品質維持の意識付けや人材確保等、労務面での苦労は多い。
- などでした。

またその他のお話としては、

- タイは日本の1.4倍の国土と6千万の人口を持ち、豊かな農業国である。
(これは帰りの飛行機からも確認できました。カンボジアやベトナムとは農地の基盤整備レベルが全く違っていました。)
 - 過去30年間平均7%を越える成長を続けてきたが、インフラが成長に追いつかない面はある。特に鉄道や道路の運輸面。停電も少なくない。
 - バンコクはこの辺りでは一番の大都会であり、バンコクだけ見てもタイやインドシナは解らない。周辺との収入差も10倍程度はある。
 - 母系社会の伝統からかタイでは男女差はほとんど無く、女性はのびのびしている。また都市部で働く女性はあまり炊事をしないので屋台が多い。
- とのことでした。

2日目昼過ぎから3日目にかけては観光を兼ねて市内各地を回りましたが、外に居る時間があまり長くなると暑さでバテるので、コントロールが難しかったようで、帽子やうちわや傘(?)を買った人も何人かいらっしゃいました。

私の印象に残っているのは、象の巨体を地面に横たわって見上げた時の一瞬の恐怖と、王宮や寺院での気の遠くなるようなタイル模様、それと地上と違い随分と涼しかった水上マーケット巡りです。

暑さを随分強調しましたが、個人的には暑いのが好きでして、1月にぎっくり腰になり弱った身体のリハビリを兼ねて3日間早朝にジョギングをしたところ、帰る頃には随分軽くなったようです。朝市内の公園では揃いのTシャツを着た多くの熟年グループが体操に汗を流していましたが、上海で見た太極拳の老人たちといい、「アジアの年寄り元気だなあ。」としみじみ思いました。

一方夜の部ですが、当青年部のこれまでの伝統と今年の会長方針(?)を受けて、皆さん大変に活動的でした。紙面が足りず詳細は述べられませんが、参加された方々に直接お尋ねください。

一般的に旅行中の時間は密度が濃いものかもしれませんが、特に今回の3泊4日は実際の何倍にも感じる程充実した内容だったと思います。

これも皆さんのご協力とご支援のお陰です。特に同じ委員会ではありますが、ツアーの企画段階から旅行中の世話まで献身的に動いて頂いた佐山さんには大変感謝しております。本当にありがとうございました。



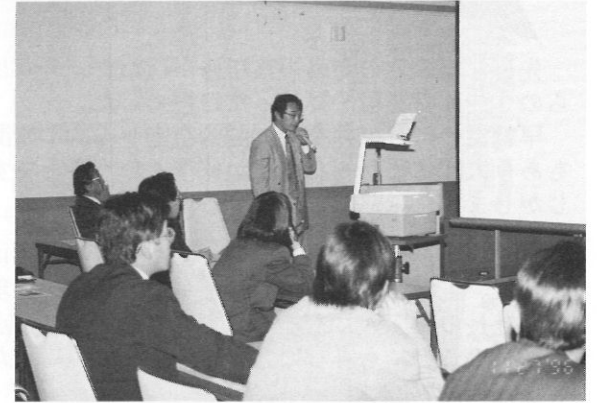
YEQ活動報告

11 月 度 例 会

広報副委員長 清川 卓二

「知って得する ISO-9000s」

11月度の例会は、広報委員会の担当により最近話題の国際規格「ISO-9000s」の講演を実施しました。講師は、清川メッキ工業株式会社 清川 卓二、そして私、清川 卓二により実施させていただきました。当社は、めっき業界で初のISO-9001を取得し福井県に於いてもさきかけて認証取得を実施しました。そこで今回は、認証取得活動により得られたメリットを中心、認証している企業の背景やISOの今後の動きを交え講演を実施しました。不慣れた講演にも関わらず多くの会員のみなさまに参加していただき熱心に耳を傾けていただきました。大手企業が海外に進出し、中小企業も今後、国際的な取り組みがますます必要になります。ISO-9000sの規格の導入は、中小企業にとって大きな意味を持ち始めていると思います。詳しい内容は、いつでも清川までお問い合わせください。



定期総会・12月度例会

広報委員会 三上 徹

定期総会

年もおしこめた去る12月18日、平成8年度定期総会が開催されました。今回の総会では、「規約一部改正案」、「9年度組織及び役員案」、「委員会職務分掌案」、「基本方針案」という議案でしたが、満場一致で可決され、次期会長の挨拶で無事閉会しました。

12月度例会

定期総会と日を同じくして、12月度例会が行われました。今回は「インターネットしてみよう」と題されパソコンを数台持ち込み、グループに別れインターネットを実際に体感しました。「ネットサーフィン」「電子メール」「ホームページ」など画面上には世界中の情報が次々と写し出されあまりの手軽さにただ驚くばかりでした。windowsブームに乗って売れに売れたパソコンですが、皆さんはどの様な使い方をされてるでしょうか？



1 月 度 例 会

広報副委員長 高間 貞行

「会頭さんと大いに語る」

毎年恒例となった「会頭と語る会」が今年は少し趣きを変えて「会頭(おやじ)さんと大いに語る」のタイトルのもと粉雪舞い散る1月22日(木)、商工会議所ビル国際ホールに於いて行われた。今年は呼び方も「会頭(おやじ)さん」に統一され例年以上に親しみも沸いた。又、地酒も振る舞われ、いつもの年とは少し様変わりした「会頭と語る会」になった。まず最初に会頭(おやじ)さんより、ロシアタンカーの重油流出事故についてお見舞いの言葉があり、続いて酒に関するエピソード等が話された。今年特徴的だったのは、経済や景気についての話はほとんどなく、会頭(おやじ)さんの人生観や成功・苦労などを多く話されて、会頭(おやじ)さんの人柄が感じられ、最後に親父(会頭)から息子(青年部)への期待と提言が話され、会を締めくくった。それにしても風邪がみにもかかわらず、会頭(おやじ)さんの話し方や熱意は我々青年部にも力強いエネルギーとなった様に思う。



2 月 度 例 会

広報委員会 青垣 幸仁

2月例会は、商工会議所ビル2階会議室A Bにて「香り、その幽遠なる世界へ」と題し、講師・岩城宗汀氏による「聞香」のお話を伺いました。「聞香」とは、香炉という器の中で香木を焼し、その香りをかぐ(香道では聞くと言いますが)ことを言います。実際に香を聞く機会にも恵まれましたが、五味「甘・苦・辛・酸・鹹」のうち、三味すら聞きあてることも難しく、すべて聞き当てられた人はごく少数でしかありませんでした。現在香道に親しまれている方々は、県内でも20名程度と茶道・華道に比べ小規模ではありますが、動作の一つ一つに無駄のない格式美に背筋の正される思いがしました。



青年部クリスマスパーティー (ある新人会員のぼやき)



毎年の恒例になっているという青年部クリスマスパーティーについて、今回初参加の僕に一言物申させて頂きたい。まず、会員委員会の金木さん、「独身の会員のためにビッチギヤルがワンサカ来るヨ♡」なあって甘い言葉で巧みに誘っておいて、あの子達じゃありませんか。パーティが始まるまで周りをキョロキョロ見まわして、ひとりココロ秘そかにワクワクしていた僕がバカみたいじゃありませんか。隣の席にいた地活委員会のおねえさん遅いです。「コンパニオンのおねえさん遅いですね。」って真顔で聞いてしまいましたよ。次に総務委員会の吉岡さん、紙芝居のつかみはメチャメチャ良かったですが、後半はちょっとつまらなかったです。個人的には、「よいこはコッチで紙芝居見てね。悪い子はお父さんのところ行ってね。」のセリフが非常に良かった。さらに野阪会長、「かちぬきジャンケン大会」と波平さん(※注1)とは、どのような因果関係があるのでしょうか?それと、ジャンケンの出し方に性格が良くでていましたね。深読みしすぎた僕はすべて1回戦で負けてしまいました。けっこう本気でヌイグルミ(※注2)を狙っていたのに……。

そしてやはり、桜委員会の田谷さん(※注3)が家族といっしょの時には、いつものスルドイつまこみ心な遠慮気味でしたね。でもその代わりには、僕はお子さんから、スルドイ発言を聞かれました。「隣のお兄ちゃんの方がカッコイイ♡(※注3)ガッソ」。

最後に地活委員会の佐々木茂さん、家族紹介でのハズシはけっこうさむいものがありましたね。やはりロシア人一家ではなくジャマイカ人一家でいった方が良かったように思います。でも、田谷さんの娘さんを口説くなんて青田買にもほどがあります。名刺配りもホドホドに……。

とまあ、独身会員には針のムシロのような2時間半でした。(いつか家族で参加してやる……)

【※注1】 御存じサザエさん一家の大黒柱
【※注2】 一説には波平ルックの野阪会長のヌイグルミだと言
【※注3】 隣のお兄ちゃんとは、地活委員会の佐々木茂さん (匿名希望)

平成九年度役員紹介

会長	三村 貞二
副会長	田中 義乃
〃	橋 敏夫
〃	吉野 弘美
〃	堂 越 啓司

退会のお知らせ

諸般の事情により三名の方が退会されました。

- 大久保 徹 朗
- 塚本 則 敏
- 橋詰 雅 夫

水まわり商品の販売施工
TOTO特約店

システムキッチン
ウォシュレット
ユニットバス
化粧台

福井建材
FUKUI KENZAI

福井市問屋町2丁目34番地
TEL 0776-26-2915 FAX 21-7287

よい建築とは、施主が100%満足していただく事、お気軽にお立ち寄り下さい。コーヒーサービスいたします。建築家の卵のアトリエをぜひ御見学下さい。

出田 吏市
建築家

明里橋通り (西環状線)
当事務所 ラプロードの2Fです

出田建築事務所 〒910福井市文京5丁目17-3ハマヤビル201(一級建築士事務所)
tel0776-25-9355・fax0776-25-9396 財団法人建築家協会

NOSANが行く。 作 藤加スリロ



編集後記

今回の広報「福居」はいかがでしたか。
 今年は、新年早々ロシアのタンカーが難破して先端部分が三国沖で座礁し、重油の想像を絶する汚染がはじまってしまいました。ポランティアの人や地元の人で海岸線の油の回収作業が開始され、全国からポランティアが福井に集まって下さいました。
 さて青年部でも、有志がポランティアに参加しましたが、当日はあいにく天気が悪く残念ながら中止となりました。
 (表紙の写真)
 今年も七名の方がご卒業されます。ご卒業されても、是非青年部活動で培った経験を生かして今後の活躍をご期待しています。
 さて今年一年広報の仕事を担当して、慣れない事が多く皆さんにご迷惑をかけたかもしれませんが、本当に良い体験をさせて頂きました。
 一年間ご愛読を感謝いたします。本当にありがとうございました。

広報委員長
 柴田 治 是



全日本紳士服技術コンクール最高位受賞

お 誂 え 専 門

(株)高間繁洋服店

福井市毛矢2丁目1-7
 TEL (0776) 35-0853
 FAX (0776) 36-6299

いよいよ、デジタル100チャンネル
 パーフェクティブー
Perfect TV!
 YEG特別価格にてご提供中!

情報機器 オフィス家具
Canon KOKUYO
FD 有限会社 エフオーシステム

〒910 福井市宝永2丁目13-13
 TEL 0776-25-5300 FAX 0776-25-6030

代表取締役 **佐々木清史**
 (1996年度 監事)